

令和7年度 大館市立第一中学校 学校評価書(前期・年度)

A 学校教育目標

ふるさと大館を愛し、共に磨き高め合い、今と未来を幸せに生きる生徒の育成

B 目指す生徒像(校訓)

○自ら課題を見つけ、仲間と議論しながら、学び続ける生徒(英知) ○大勢の中で、認め合い競い合い支え合っ
て、仲間と心を繋ぐ生徒(友愛) ○高い志を抱き、仲間のため自分のために、困難に挑む生徒(忍耐)

C 目標具現化の構想と具体的な取組

指導の重点	「自立」と「規律」のバランスを備えた集団の育成 ～6つの基本方針～ ①学びづくり ②仲間・集団づくり ③心づくり ④健康づくり ⑤地域とのつながりづくり ⑥教職員集団づくり * 生徒指導の4視点を生かした教育活動の展開(他者との関わりを通じた自己肯定感を高める生徒指導)
1 学校のウェルビーイングの向上を目指し思い を一つにする職員集団(Team Hearts) 生徒会テーマ 百折不撓「美しき誓 佑け合いの心 仁愛のあふれる学校」	・ウェルビーイングの向上を意識した職員集団の取組 ・「指導のすき間」を埋める、「学年部内指導組織」の明確化 ・創造的運営意欲を掻き立てるミーティングの工夫 ・五大祭、IB集会、鳳雛講座、学校評価の改善
2 集団を鍛えて個を引き上げる創造的な企画と 組織的な指導	・教育目標具現のための4指導の調整 ・教育目標具現に向けた解決課題のクローズアップ ・「集団学び」を実現する学習指導 ・安全で安心な集団生活を実現する生徒指導 ・集団のよさを実感できる行事集会等指導 ・「共に挑む」経験を実現する部活指導
3 地域で示し鍛える「揺るぎない存在感」の 「核」	・地域とのつながりに着目した鳳雛講座の展開(職業観から自己の在り方・生き方へ) ・生徒会と地域の「つながり」の継続 ・「誰もが認める存在感」の評価・改善の仕組みづくり ・学校運営協議会を核にした地域とのつながり

令和7年度後期の主な行事・出来事

9月	8/23 6日、13日、14日、20日、21日 大北秋季総体	11月	13日 第2回一斉テスト
	バレーボール男子・卓球男子団体・柔道女子団体・水泳女子総合		14日 避難訓練(火災)
	・ソフトテニス男子団体NASTC・女子団体大館協会 優勝		15日 全県秋季卓球～16
	7日 全県秋季水泳 男子個人第1位2種目		21日 部活動休止期間～12/4
	16日 第257回鳳雛講座(全校)「大学生」	12月	4日 県学習状況調査
	18日 第2回学校運営協議会		10日 第4回指定訪問(国語・数学・保体)
	20日 全県秋季陸上～21 男子個人第1位1種目		12日、16日、17日 各学年球技大会
	27日 親子窓拭きボランティア		13日 アンサンブルコンテスト県北地区予選
	28日 全県駅伝大会		17日 第260回鳳雛講座「パティシエ」
10月	2日 合唱祭		25日 2学期終業式
	4日 一中祭	1月	14日 3学期始業式
	8日 第258回鳳雛講座「建設業」		17日 県アンサンブルコンテスト
	15日 第259回鳳雛講座(全校)「裁判官」		21日 第261回鳳雛講座「製箱業」
	16日 市教研教科部会②(第3回指定訪問:社会・英語)		22日 新入生保護者説明会
	18日 全県秋季ソフトテニス～19 男子団体優勝NASTC	2月	4日 3年第3回一斉テスト
	21日 生徒会役員選挙立会演説会・投票		12日 1、2年第3回一斉テスト
	23日 1、2年轟々講座 3年高校入試説明会		13日 学校保健委員会
	27日 生徒会発会式		16日 第2回IB集会 第3回学校運営協議会
	29日 全校授業参観		20日 PTA理事会・選挙管理委員会・役員懇親会
	1、2年学年PTA 3年高校入試説明会	3月	4日 一次募集学力検査等実施日
	30日 2年ココロの授業(村岡昇氏)～11/20		7日 第79回卒業式
11月	7日 生徒総会		13日 一次募集合格者発表
	8日 全県秋季バレーボール・柔道～9		19日 修了式
	8日 東北駅伝		22日 春季休業～4/6
	11日 新入生体験入学		



10月2日(木) 合唱祭 全校合唱「時の旅人」



11月4日(火) 2年生「ココロの授業」

令和7年度 学校評価一覧(年度)

【教職員自己評価】

学校名(大館市立第一中学校)

大館市教育の目的	多様な他者との共感的・協働的な学びと、一人一人が生きる学びを一体的に充実させ、自分の成長を実感できる子どもの育成
学校の教育目標	ふるさと大館を愛し、共に磨き高め合い、今と未来を幸せに生きる生徒の育成
学校の重点目標	「自立」と「規律」のバランスを備えた集団の育成

人間の基礎力・大館市民基礎力・大館市民実践力の育成	評価項目		自己評価 A	委員評価	評価指標	主たる 担当	実践課題	主な取組	自己 評価 B
	人間の基礎力・大館市民基礎力・大館市民実践力の育成	I 組織的 学校運営と 展開	教職員が重点目標を意識し、チームとして、主体的、組織的に取り組んでいる。	良好	良好	1 職員組織の活性化	事務職員 教頭 連携担当	(1) 協働戦略、意識統一の仕組みづくり(TeamHearts)	経営戦略会議の運営、組織力とやる気を高める仕掛け
2 先を見通した危機管理						(2) 危機予測と職員管理・施設管理・会計管理		組織的危機管理の仕組みづくり(「危機回避のための行動指針」の策定等)	4
3 開かれた学校づくり						(3) 外部との連携と発信、地域貢献		地域づくり、地域貢献に視点を当てた鳳雛講座 子供ハローワークを活用した地域貢献活動の活性化 地域に目を向けた生徒会の活動支援 学校報や学年通信等による発信	4
II 指導調整 と経営課題の 焦点化		指導部や学年部等分掌を超えて取組を理解し、課題の解決に向けて共通実践に取り組んでいる。	良好	良好	4 教育課程の編成と管理	教務部	(4) 日課や年間指導計画の創意工夫と提案	学校行事及び指導部事業の効果を高める教育計画の策定と管理	4
					5 指導調整と諸会議の運営		(5) 指導部事業及び五大祭の調整、会議の工夫	職員会議や主任会等、分掌の隙間を埋める仕掛けと工夫	4
					6 課題の焦点化と検証	研究部	(6) 共通実践による仮説検証	学校課題の設定と解決のための道筋の提示、諸調査等の結果の周知と課題の明確化	4
					7 研修・研究会の運営		(7) 研修・研究会の活性化	生徒の実態や職員の思いを基にした研修、教科の枠を超えて学び合う授業研究会の実施	4
III 健全な 生活習慣		集団の規律の大切さを理解し、よりよい集団生活に寄与しようとする意欲を育てている。	概ね良好	概ね良好	8 校内生活規律の徹底	生徒指導部 (部活担当)	(8) あいさつ、身だしなみ等校内生活全般	「一中学生の一日」等生活指導資料の活用と主体的実践意欲の喚起	3
					9 校外生活安全の保守		(9) あいさつ、交通安全等校外生活全般	校外生活の実態把握(理解)と安全・安心実現のための取組	3
					10 望ましい生活習慣		(10) 保健・清掃、食事、メディア等の指導	心に響く指導資料の策定及び保護者への働きかけの工夫	4
IV 思いやりの心・たくましい心		集団で一つの目標に向かって切磋琢磨する体験を重視し、自己と他者を大切にしている。	良好	良好	11 学年・学級経営	学年主任統括	(11) 「共感と規律」へのアプローチの工夫	仲間を大切にし、困難に打ち勝つ空気醸成(学校行事等の活用)	4
					12 適応指導	生徒支援担当	(12) 教育相談と生徒理解及び一人一人に応じた指導	教育相談の充実及び生徒及び保護者に寄り添った、学校不応等諸課題への対応	4
					13 部活動運営	部活担当	(13) 一中部活動の方針策定と実践	部活動運営方針の徹底と心の育成	4
V 基礎学力と学習習慣		集団で学ぶ力を高めることで、主体的、対話的で深い学びを実現しようとしている。	概ね良好	概ね良好	14 学習規律・習慣の確立	学習指導部	(14) 主体的学習態度の育成	全教科で取り組む集団(学級、グループ、ペア)での学び方の定着	3
					15 学習環境の整備		(15) 教室環境、学習用具、教育機材等	新しい学びを生み出す学習環境の構成及び管理	4
VI 自治的 集団活動		集団で生活する喜びを実感し、皆とともによりよい生活を実現しようとする主体性を育てている。	概ね良好	良好	16 学校行事等集団活動	特活指導部	(16) 皆(生徒、保護者、教職員)の心が動く学校行事	学校行事の目的意識及び取り組みませ方の工夫と振り返りの充実	4
					17 生徒会活動と学校経営		(17) 共感と規律を意識させる全校集会	集団活動における「規律」と「共感的反応」のよさを実感できる集会活動	4
					18 「一中学生の強み」を進化させる活動の工夫		(18) 「一中学生の強み」を進化させる活動の工夫	主体的自治的生徒会活動の仕掛けと実践	3

D 評価

ア 学校運営の状況

自己評価Aと外部評価の評価区分	極めて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	概ね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 組織的學校運営と展開

学校運営の状況	自己評価A	委員評価	委員のコメント	
教職員が重点目標を意識し、チームとして、主体的、組織的に取り組んでいる。	前期	良好	良好	危機管理意識・能力の高い職員が多く、チーム一中として組織的に動いていることがヒアリングからもよく理解できた。アプリ活用により保護者との情報のやりとりが確実にできるようになったことが評価できる。
	年度	良好	良好	学年部等で組織的対応がよくできているので、確実な実践が行われている。全校鳳雛講座を2回実施するなど、進路への意識が高まっている。

【前期(→年度)】 校長が示す具体的な学校経営方針やタイムリーな情報提供、職員室内における温かい声かけにより意識が統一されていると感じる。共通実践が疎かにならないよう、今後も共有を大切にいく。年代に関わらず危機管理意識・能力の高い職員が多く、チームとして動くことができている。生徒の地域貢献意識が94%ととても高く、地域人材を活用した鳳雛講座等を継続していくことで維持及び向上を図りたい。学校報の配信をアプリに変更したことで保護者に情報が確実に届くようになった。好評の声も聞かれるが、それに安心することなく効果的な運用を続けていく。

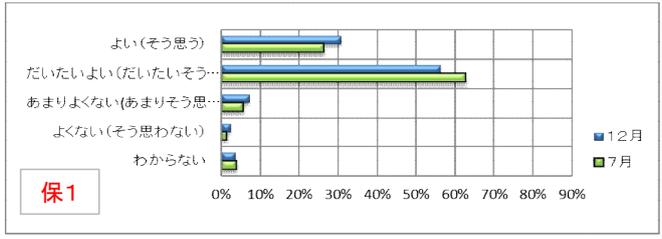
【年度(→次年度)】 前期から引き続き、各分掌及び学年部で組織的な対応ができている。職員が変わっても共有を怠ることなく共通実践につなげていきたい。生徒の地域貢献意識は前期に続き94%ととても高く、鳳雛講座も好評なため、今年度実施した全校鳳雛講座を来年度も最低1回は組み込むことで進路への意識をより高めていきたい。

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 職員組織の活性化	(1)協働戦略、意識統一の仕組みづくり(TeamHearts)	経営戦略会議の運営、組織力とやる気を高める仕掛け	4	4
2 活力ある集団生活	(2)危機予測と職員管理・施設管理・会計管理	組織的危機管理の仕組みづくり(「危機回避のための行動指針」の策定等)	4	4
3 開かれた学校づくり	(3)外部との連携と発信、地域貢献	地域づくり、地域貢献に視点を当てた鳳雛講座 子供ハローワークを活用した地域貢献活動の活性化 地域に目を向けた生徒会の活動支援 学校報や学年通信等による発信	4	4

1(1)
職1 職員組織の活性化 平均4.6(令和7年度前期4.5)

1(2)
保1 学校は、生徒の安心・安全の確保について適切に対応していると思いますか。(危険予測能力や危険回避能力の育成、交通事故防止、非行防止、SNS利用マナー指導、不審者対応等)

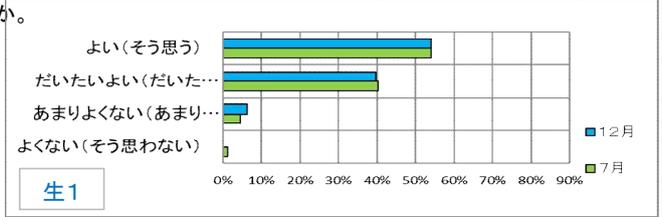
	12月	7月
よい(そう思う)	31%	26%
だいたいよい(だいたいそう思う)	56%	63%
あまりよくない(あまりそう思わない)	7%	6%
よくない(そう思わない)	2%	1%
わからない	4%	4%



職2 先を見通した危機管理 平均4.8(令和7年度前期4.4)

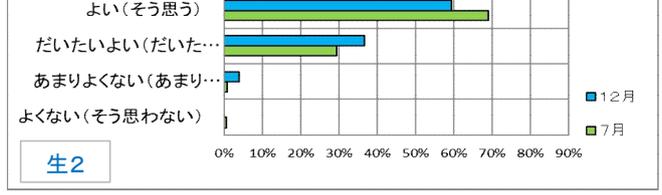
1(3)
生1 あなたは、ふるさと大館を愛し、地域に貢献したいと思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	54%	54%
だいたいよい(だいたいそう思う)	40%	40%
あまりよくない(あまりそう思わない)	6%	5%
よくない(そう思わない)	0%	1%



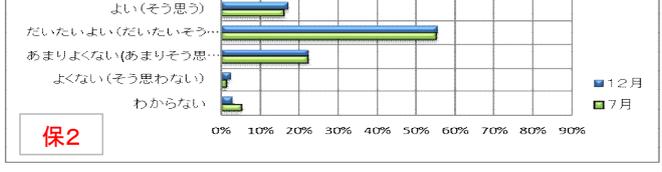
生2 あなたにとって、鳳雛講座や図南タイムの学習(修学旅行、職場体験学習、企業見学等)での学びは、自分の生き方について考えるよい機会となりましたか。

	12月	7月
よい(そう思う)	59%	69%
だいたいよい(だいたいそう思う)	37%	29%
あまりよくない(あまりそう思わない)	4%	1%
よくない(そう思わない)	0%	1%



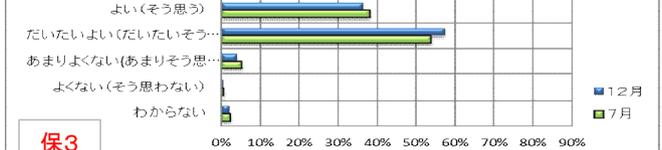
保2 あなたのお子さんは、ふるさと大館を愛し、地域に貢献しようとする意識が高まっていますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	17%	16%
だいたいよい(だいたいそう思う)	55%	55%
あまりよくない(あまりそう思わない)	22%	22%
よくない(そう思わない)	2%	1%
わからない	3%	5%



保3 学校は、郷土愛を醸成し、地域に貢献しようとする生徒の意識を向上させるための取組を工夫していると思いますか。(鳳雛講座、職場体験学習、企業訪問学習、修学旅行等)

	12月	7月
よい(そう思う)	36%	38%
だいたいよい(だいたいそう思う)	57%	54%
あまりよくない(あまりそう思わない)	4%	5%
よくない(そう思わない)	0%	0%
わからない	2%	2%



職3 開かれた学校づくり 平均4.8(令和7年度前期4.7)

ア 学校運営の状況

II 指導調整と経営課題の焦点化

学校の状況		自己評価A	委員評価	委員のコメント
指導部や学年部等分掌を超えて取組を理解し、課題の解決に向けて共通実践に取り組んでいる。	前期	良好	良好	教職員の働き方改革を加味した教育課程の編成で成果を上げていることが評価できる。日常的な対話を重視したちよこつと研修で成果を上げている。引き続き「わらい」「わくわく」「わかる」の授業実践を続けてほしい。
	年度	良好	良好	各主任・部長が連携し合ってよりよい教育課程をつくり、計画を改善しながら実施している。ロイノート等のICTを活用し、それぞれの対話を共有しているところが評価できる。
校自己改善の概要と学	【前期(→年度)】	生徒の力を伸ばすこと第一に考えながら、教職員の働き方改革も加味された教育課程の編成を心掛けた。各主任・部長の連携を密に取りながら、年度途中であっても計画の改善・実施をしていく。分掌の隙間に気付いて動いたり、互いに隙間を埋めていることに気付くことができたりする職員集団である。学校経営の基本方針6「学び成長できる教職員集団づくり」の下、日常的な対話を重視した「ちよこつと研修」を積み重ねた。今後は生徒同士の学びの充実を図るために、改めて生徒の有り様に目を向けて「わらい」「わくわく」「わかる」3つのわのある授業実践をしていく。		
	【年度(→次年度)】	各主任・部長と連携しながら、よりよい教育課程となるよう、計画を改善しながら実施することができた。よりきめ細やかな改善を目指し、各分掌・学年部の意見が出しやすくなる工夫を考えていきたい。後期のちよこつと研修でも日常的な対話を重視した。また、アプリ「ロイノート」などのICTを活用し、それぞれの対話について共有できるようにした。今後も生徒の姿を基に職員の困りごとや研修意欲を大事にした研修を行っていきたい。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 教育課程の編成と管理	(4)日課や年間指導計画の創意工夫と提案	学校行事及び指導部事業の効果を高める教育計画の策定と管理	4	4
5 指導調整と諸会議の運営	(5)指導部事業及び五大祭の調整、会議の工夫	職員会議や主任会等、分掌の隙間を埋める仕掛けと工夫	4	4
6 課題の焦点化と研究	(6)共通実践による仮説検証	学校課題の設定と解決のための道筋の提示、諸調査等の結果の周知と課題の明確化	4	4
7 研修・研究会の運営	(7)研修・研究会の活性化	生徒の実態や職員の思いを基にした研修、教科の枠を超えて学び合う授業研究会の実施	4	4

4(4)

職4 教育課程の編成と管理 平均4.7(令和7年度前期4.6)

5(5)

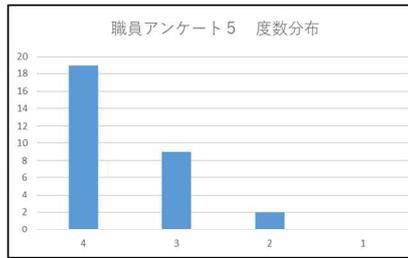
職5 指導調整と諸会議の運営 平均4.5(令和7年度前期4.3)

6(6)

職6 課題の焦点化と研究 平均4.6(令和7年度前期4.3)

7(7)

職7 諸検査の分析と課題等の周知 平均4.7(令和7年度前期4.5)

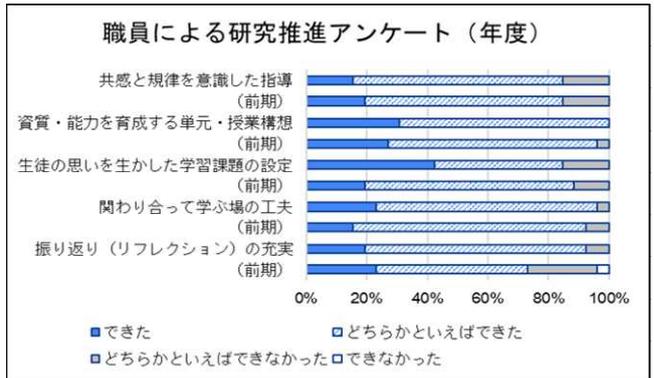
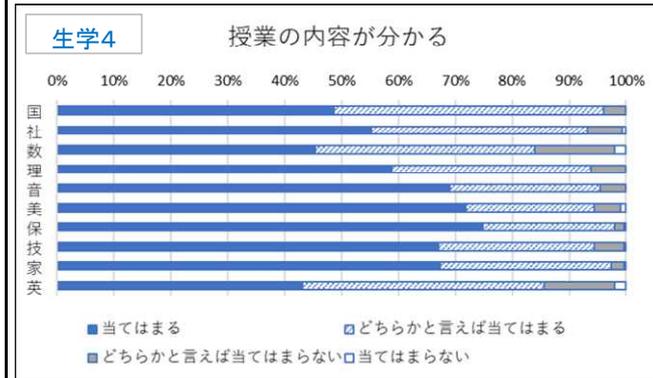
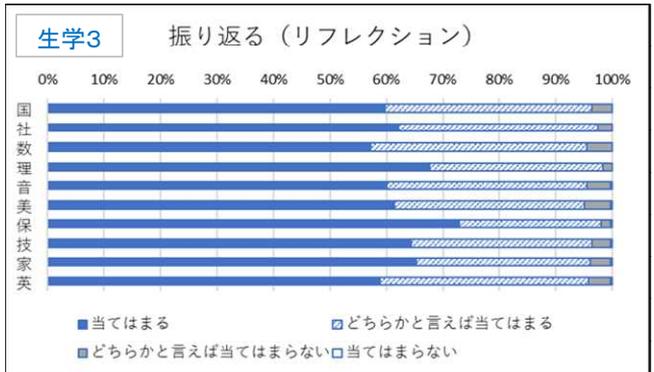
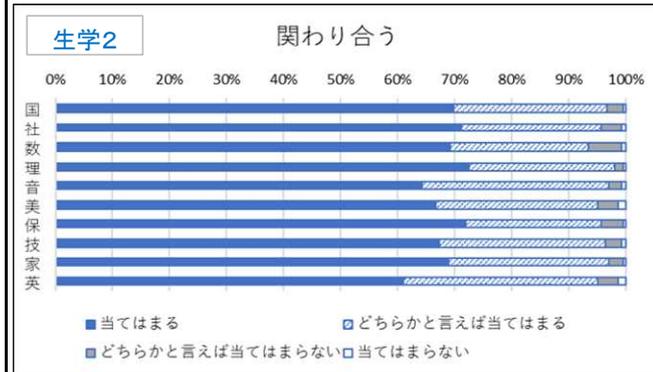


平均評価4.0を上回り、前期の評価よりも若干上がっている。職員の意見を常に聞く姿勢は継続しつつ、職員数の多い学校だからこそ、一人一人の意見を吸い上げやすい環境づくりを目指していく。

生学2 授業では、友達と関わり合う活動を通して、自分の活動を確かめたり、考えを広げたり深めたりしましたか。

生学3 授業のリフレクション(振り返り)で、「自分の変容や成長」を振り返ったり、「授業内容とのつながり」を考えたりしましたか。

生学4 授業の内容が分かりますか。



イ 生徒の状況

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

Ⅲ 健全な生活習慣

生徒の状況	自己評価A	委員評価	委員のコメント
集団の規律の大切さを理解し、よりよい集団生活に寄与しようとする意欲をもって生活している。	前期 概ね良好	概ね良好	自転車利用については保護者の声も伝えながら啓蒙を行い、随時指導を続けてほしい。あいさつについては、地域や家庭の協力も得ながら底上げを図ってほしい。
	年度 概ね良好	概ね良好	ほとんどの項目で肯定的な回答が8割以上となっているので、今後も情報提供を継続して行き、望ましい生活習慣の確立により一層努めてほしい。
学自 校己 の評 改価 善概 策要 と	<p>【前期(→年度)】8「校内生活規律の徹底」9「校外生活安全の保守」のどちらも昨年並の評価となっている。しかし、自転車の利用については、昨年よりも地域からの苦情などが多いため、機会がある度に指導を行い啓蒙を図ってきたい。「望ましい生活習慣」については、保護者の74%、生徒の87%が肯定的な回答をしている。昨年度と比較し、生徒は6ポイント増え、保護者は7ポイント下がっている。生活習慣の確立と継続への自己決定を促し、家庭へも情報提供を行い協力を得たい。</p> <p>【年度(→次年度)】7月と比べると生徒の校外生活のあいさつの項目が10ポイントほど下がった。登下校の際に自転車でなく自家用車での送迎になったことが一因となっているとも考えられる。その他の内容については微増か横ばいとなっているが、ほとんどの項目で肯定的な回答が8割以上となっている。今後も情報提供を継続して行き、生活習慣の確立を促したい。「望ましい生活習慣」は保護者の7割以上、生徒の8割以上が肯定的な回答をしたが、7月と比較し保護者、生徒とも肯定的な回答が低下している。しかし保護者の「よい」と答えた割合が2ポイント上昇し、家庭では生活習慣の改善が見られている。情報提供を継続して行き、生活習慣の確立を促したい。</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 校内生活規律の徹底	(8)あいさつ、身だしなみ等校内生活全般	「一中生の一日」等生活指導資料の活用と主体的実践意欲の喚起	3	3
9 校外生活安全の保守	(9)あいさつ、交通安全等校外生活全般	校外生活の実態把握(理解)と安全・安心実現のための取組	3	3
10 望ましい生活習慣	(10)保健・清掃、食事、メディア等の指導	心に響く指導資料の策定及び保護者への働きかけの工夫	4	4

8(8) 生3 あなたは、学校生活において、ルールやマナーを守って生活していますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	46%	48%
だいたいよい(だいたいそう思う)	52%	49%
あまりよくない(あまりそう思わない)	1%	3%
よくない(そう思わない)	0%	0%

保4 学校は、集団生活におけるルールやマナーを守ることができる生徒を育てるための指導を行っていると思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	25%	26%
だいたいよい(だいたいそう思う)	63%	59%
あまりよくない(あまりそう思わない)	8%	8%
よくない(そう思わない)	2%	2%
わからない	2%	5%

生5 あなたは、校外において、地域の人にあいさつ(おはようございます、こんにちは、さようなら等)をしていますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	39%	48%
だいたいよい(だいたいそう思う)	36%	37%
あまりよくない(あまりそう思わない)	23%	14%
よくない(そう思わない)	3%	2%

保6 あなたのお子さんは、校外において、安心・安全な生活を送ることができていますか。(交通事故防止、SNSの利用の仕方等)

	12月	7月
よい(そう思う)	22%	24%
だいたいよい(だいたいそう思う)	67%	65%
あまりよくない(あまりそう思わない)	10%	8%
よくない(そう思わない)	2%	2%
わからない	0%	1%

職9 校外生活安全の保守 平均4.3(令和7年度前期4.0)

生7 あなたは、心と体を健康に保つために、規則正しい生活を心がけることができていますか。(早寝、早起き、朝ご飯等)

	12月	7月
よい(そう思う)	39%	43%
だいたいよい(だいたいそう思う)	45%	44%
あまりよくない(あまりそう思わない)	15%	12%
よくない(そう思わない)	1%	1%

保7 あなたのお子さんは、心と体を健康に保つために、規則正しい生活を送ることができていますか。(早寝、早起き、朝ご飯等)

	12月	7月
よい(そう思う)	26%	24%
だいたいよい(だいたいそう思う)	47%	50%
あまりよくない(あまりそう思わない)	24%	21%
よくない(そう思わない)	4%	4%
わからない	0%	1%

職10 望ましい生活習慣 平均4.3(令和7年度前期4.0)

生4 あなたは、学校生活において、先生や来校者にあいさつ(おはようございます、こんにちは、さようなら等)をしていますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	64%	65%
だいたいよい(だいたいそう思う)	33%	32%
あまりよくない(あまりそう思わない)	3%	3%
よくない(そう思わない)	0%	1%

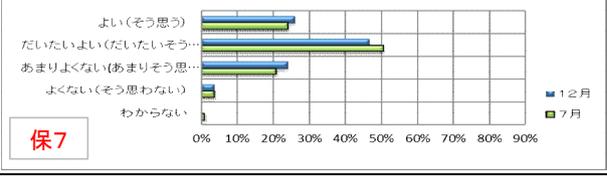
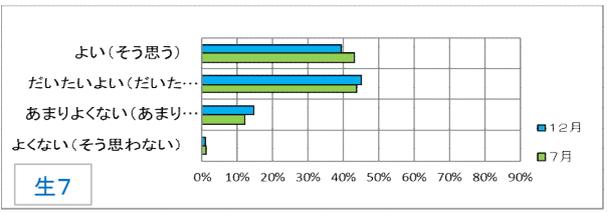
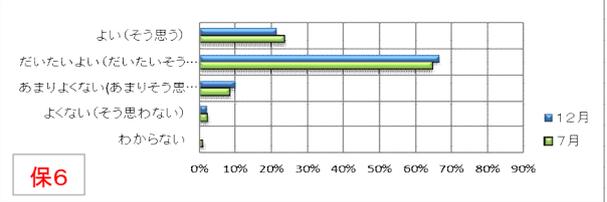
保5 一中生のあいさつについて、どう感じていますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	18%	18%
だいたいよい(だいたいそう思う)	58%	52%
あまりよくない(あまりそう思わない)	16%	22%
よくない(そう思わない)	2%	1%
わからない	6%	6%

職8 校内生活規律の徹底 平均3.8(令和7年度前期3.9)

生6 あなたは、校外において、安心・安全な生活を心がけることができていますか。(交通事故防止、SNSの利用の仕方等)

	12月	7月
よい(そう思う)	68%	70%
だいたいよい(だいたいそう思う)	31%	28%
あまりよくない(あまりそう思わない)	0%	1%
よくない(そう思わない)	0%	0%



Ⅰ 生徒の状況

Ⅳ 思いやりの心・たくましい心

生徒の状況	自己評価A	委員評価	委員のコメント	
集団で一つの目標に向かって切磋琢磨する体験を通して、自己と他者を大切にしたいという思いをもって生活している。	前期	良好	良好	教育相談アンケート及びスクールカウンセラー便りの発行による悩みごとへの対応は効果を上げていますので、引き続き実施してほしい。部活動については、これからは生徒とよく関わり、保護者とも共通理解を図って成果を上げてほしい。
	年度	良好	良好	「学年や学級の目標の実現に向けて、仲間と共に高め合いながら毎日の学校生活を送ることができている」と100%肯定的に捉えていることは、大いに評価できる。今後の部活動の方針については、しっかりと共通理解して運営に当たってほしい。
学校自己評価改善の概要と	<p>【前期(一年度)】 11: 肯定的回答が9割近くという結果である。保護者の回答はやや否定的回答が増えている。学校での姿と家庭での姿の変化、学校での取組が家庭に知られていないということも考えられる。生徒への事前指導・取組の中での声かけ・事後指導をこれまで以上に大事にしていきたい。12: 教育相談アンケートの実施による悩み事への対応は効果的であるため継続し、効果的な活用を進めていきたい。また、今年度はスクールカウンセラー便りを配るなどの活動も効果的であったため、昨年度よりもよい評価となっていた。部活動では、経験の有無や顧問体制が変化した中でも、生徒や保護者から肯定的な回答の割合が高い。各顧問が部活動を通して生徒と積極的に関わり、また、部報や練習試合、大会の引率では保護者とも共通理解を図っているからこそだと考える。今後も、学校教育の一環として、真摯に取り組んでいきたい。</p> <p>【年度(一次年度)】 学年・学級経営では、生徒と保護者の肯定的な捉えに差が見られる。引き続き、学校での取組を家庭に知らせていくようにしていきたい。教育相談については良好ではあるものの少々下降している部分も見られる。引き続き生徒の声をしっかりと聞くなど相談できる体制を整えていきたい。部活動では、生徒と保護者から肯定的な回答の割合が高いが、やや否定的な回答も微増している。各顧問が部活動指導に誠心誠意取り組んでいることが生徒や保護者からも認識されている一方で、顧問と保護者間で共通理解が図られていなかったり、競技によって地域移行の進捗が不透明だったりしていることが原因であると考えられる。今後の部活動の方向に関しては校内でも共通理解していきたい。</p>			

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
11 学年・学級経営	(11)「共感と規律」へのアプローチの工夫	仲間を大切にし、困難に打ち勝つ空気感醸成(学校行事等の活用)	4	4
12 適応指導	(12)教育相談と生徒理解及び一人一人に応じた指導	教育相談の充実及び生徒及び保護者に寄り添った、学校不適応等諸課題への対応	4	4
13 部活動運営	(13)一中部活動の方針策定と実践	部活動運営方針の徹底と心の育成	4	4

11(11)

生8 あなたは、学年や学級の目標の実現に向けて、仲間と共に高め合いながら毎日の学校生活を送ることができていますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	78%	52%
だいたいよい(だいたいそう思う)	22%	44%
あまりよくない(あまりそう思わない)	0%	3%
よくない(そう思わない)	0%	0%

保8 あなたのお子さんは、学年や学級の目標の実現のために、仲間と共に高め合いながら、毎日の学校生活を送っていると思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	29%	31%
だいたいよい(だいたいそう思う)	54%	55%
あまりよくない(あまりそう思わない)	11%	8%
よくない(そう思わない)	4%	3%
わからない	3%	4%

職11 学年・学級経営 平均4.5(令和7年度前期4.3)

12(12)

生10 先生方は、あなたの気持ちを理解し、誠実に対応していると思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	55%	63%
だいたいよい(だいたいそう思う)	42%	35%
あまりよくない(あまりそう思わない)	3%	2%
よくない(そう思わない)	0%	1%

保9 学校は、生徒や保護者の思いや願いに寄り添った対応をしていると思いますか。(教育相談の実施、SCとの連携、関係機関との連絡・調整、生徒・保護者への対応等)

	12月	7月
よい(そう思う)	24%	25%
だいたいよい(だいたいそう思う)	60%	58%
あまりよくない(あまりそう思わない)	12%	8%
よくない(そう思わない)	0%	1%
わからない	5%	7%

職12 適応指導 平均4.6(令和7年度前期4.4)

13(13)

生11 先生方は、部活動において熱心に指導していると思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	61%	72%
だいたいよい(だいたいそう思う)	34%	24%
あまりよくない(あまりそう思わない)	4%	2%
よくない(そう思わない)	0%	2%

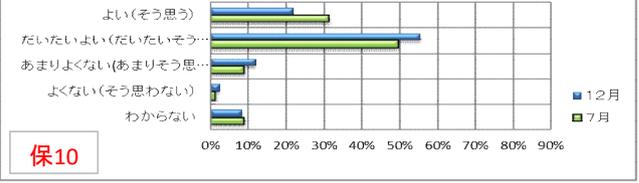
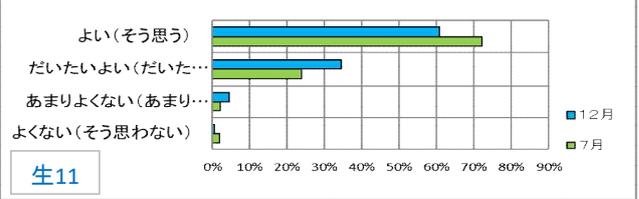
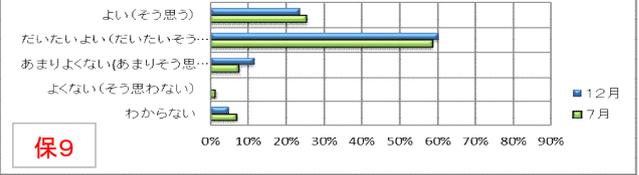
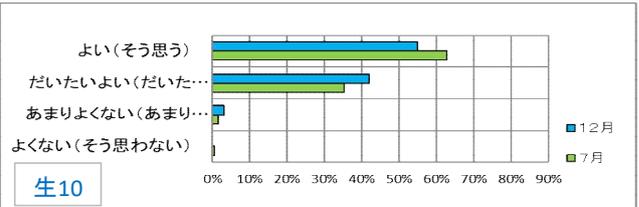
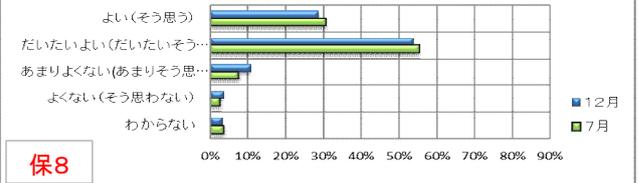
保10 学校は、保護者に対して部活動運営方針を提示するとともに、部活動を通して技術・技能、心の育成に努めていると思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	22%	31%
だいたいよい(だいたいそう思う)	55%	50%
あまりよくない(あまりそう思わない)	12%	9%
よくない(そう思わない)	2%	1%
わからない	8%	9%

職13 部活動運営 平均4.5(令和7年度前期4.3)

生9 あなたは、学校生活において、友達を大切に、共に高め合いながらいろいろな学習や学校行事等に取り組んでいますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	69%	70%
だいたいよい(だいたいそう思う)	29%	27%
あまりよくない(あまりそう思わない)	2%	2%
よくない(そう思わない)	0%	1%



イ 生徒の状況

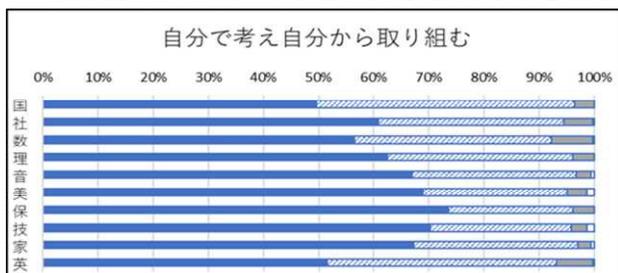
V 基礎学力と学習習慣

学校運営の状況		自己評価A	委員評価	委員のコメント
集団で学ぶ力を高めることで、主体的、対話的で深い学びを実現しようとしている。	前期	概ね良好	概ね良好	タブレットやICTを活用した学習を更に進めてほしい。共感的・協働的な関わり合い活動を通して、生徒主体の授業づくりを実践し続けてほしい。
	年度	概ね良好	概ね良好	関わり合う場を設定した授業づくりを共通実践しているので、自ら考え主体的に取り組む姿が期待できる。個に応じた指導を実践し、更に力を付けてほしい。
善要自	【前期(→年度)】	関わり合う活動を通して、自分の活動を確認めたり、考えを広げたり深めることができる場を設定した生徒主体の授業と己業づくりを実践していきたい。授業の終わりに自分の変容や成長を感じることができるように、タブレットやICTも効果的に活用していきたい。		
校価	【年度(→次年度)】	関わり合う場を設定した授業づくりを共通実践したことにより、学習内容の難易度が上がっても自ら考え取り組むの意欲を維持することができていると考えられる。アンケート結果も前期より向上している。今後も学習形態やICTを活用し、個に応じた指導を継続していきたい。		

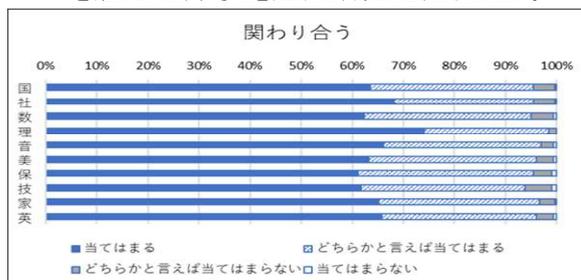
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
14 学習規律・習慣の確立	(14)主体的学習態度の育成	全教科で取り組む集団(学級、グループ、ペア)での学び方の定着	3	3
15 学習環境の整備	(15)教室環境、学習用具、教育機材等	新しい学びを生み出す学習環境の構成及び管理	4	4

14(14)

生物学1 授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組みましたか。

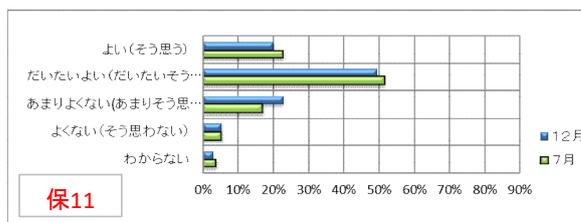


生物学2 授業では、友達と関わり合う活動を通して、自分の活動を確認めたり、考えを広げたり深めたりしましたか。



保11 あなたのお子さんは、学校での授業に目標をもって取り組んでいると思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	20%	23%
だいたいよい(だいたいそう思う)	49%	51%
あまりよくない(あまりそう思わない)	23%	17%
よくない(そう思わない)	5%	5%
わからない	3%	4%

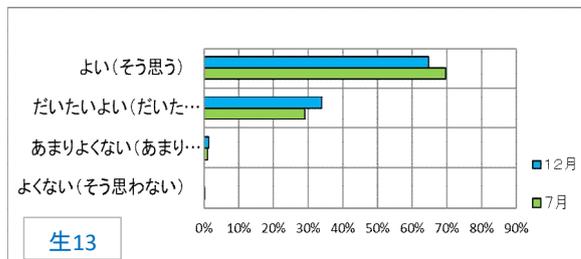


職14 学習規律・習慣の確立 平均4.1(令和7年度前期3.9)

15(15)

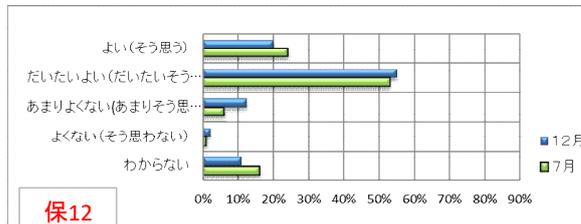
生13 先生方は、授業においてICT(タブレットPCや電子黒板等)を活用したり教具やシート等を工夫したりして、生徒が理解しやすいように心がけていますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	65%	70%
だいたいよい(だいたいそう思う)	34%	29%
あまりよくない(あまりそう思わない)	1%	1%
よくない(そう思わない)	0%	0%



保12 学校は、生徒の学力向上のために、日々の授業において指導方法や内容を工夫していると思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	20%	24%
だいたいよい(だいたいそう思う)	55%	53%
あまりよくない(あまりそう思わない)	12%	6%
よくない(そう思わない)	2%	1%
わからない	11%	16%



職15 学習環境の整備 平均4.0(令和7年度前期4.0)

イ 生徒の状況

VI 自治的集団活動

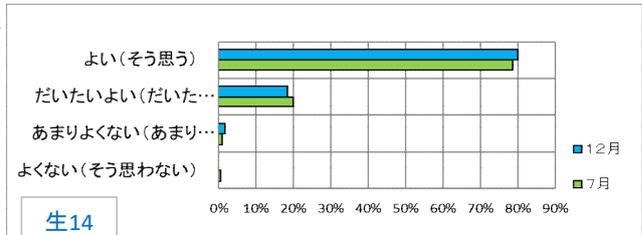
学校運営の状況		自己評価A	委員評価	委員のコメント
集団で生活する喜びを実感し、皆とともによりよい生活を実現しようとする主体性を育てている。	前期	概ね良好	良好	豊かな体験活動を通して集団で生活する喜びを実感している生徒が多い。特に五大祭においては自分の役割を理解し、相手のことを考えて行事に臨むことができていたことが一中性の強みである。
	年度	概ね良好	良好	学校行事の意義や自分の役割を理解し目標をもって取り組んでおり、生徒が学校生活に充実感を得ていることがアンケートやヒアリングから伝わってくる。
学校の評改価善の概要と	【前期(→年度)】	「豊かな体験活動を通して身に付いた能力を実感し、共感的協働力を高める」を目標とした結果として、ほとんどの項目で肯定的な評価が9割を超えている。目標をもち、自分の役割を理解し、相手のことを考えて行事に臨むことができていた。しかし、保護者からの「あなたのお子さんは、生徒会活動やボランティア活動などで、学校や学級がよりよくなるように活動していると思いますか。」には否定的な評価が多い(27%)。特に「分からない」の評価が10%である。新たな手立てを講じ、地域・保護者にも周知していくことがより必要となってくると考える。		
	【年度(→次年度)】	ほとんどの項目で肯定的な評価が9割を超えている。その中で保護者からの「あなたのお子さんは、生徒会活動やボランティア活動などで、学校や学級がよりよくなるように活動していると思いますか。」には否定的な評価が多く(25%)、前期と比較すると少々ポイントは上がったものの、教職員の評価に差がある。各行事ごとのねらいの再考と周知徹底が指摘されており、全職員の意識差を無くすこと、共通理解と実践から取り組んでいかなければいけないと考える。		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
16 学校行事等 集団活動	(16)皆(生徒、保護者、教職員)の心が動く学校行事	学校行事の目的意識及び取り組みませ方の工夫と振り返りの充実	4	4
	(17)共感と規律を意識させる全校集会	集団活動における「規律」と「共感的反応」の良さを、実感できる集会活動	4	4
17 生徒会活動 と学校経営	(18)「一中生の強み」を進化させる活動の工夫	主体的自治的生徒会活動の仕掛けと実践	3	3

16(16)

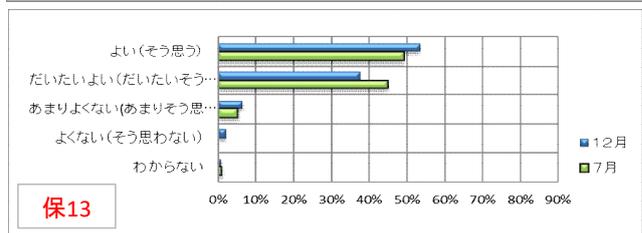
生14 あなたは、体育祭などの学校行事の意義や自分の役割を理解し、参加することができましたか。

	12月	7月
よい(そう思う)	80%	78%
だいたいよい(だいたいそう思う)	18%	20%
あまりよくない(あまりそう思わない)	2%	1%
よくない(そう思わない)	0%	1%



保13 あなたのお子さんは、体育祭等の学校行事に目標をもって取り組んでいたと思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	53%	49%
だいたいよい(だいたいそう思う)	37%	45%
あまりよくない(あまりそう思わない)	6%	5%
よくない(そう思わない)	2%	0%
わからない	1%	1%

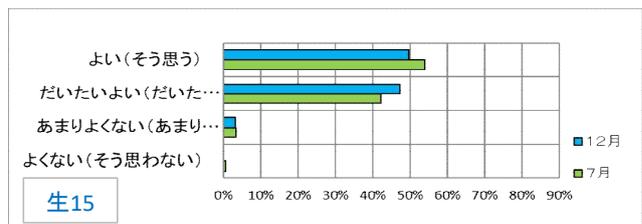


職16 皆(生徒、保護者、教職員)の心が動く学校行事 平均4.5(令和7年度前期4.5)

16(17)

生15 あなたは、全校集会や生徒総会において、相手を意識した話し方や聴き方を意識し、自分の考えを深めることができましたか。

	12月	7月
よい(そう思う)	50%	54%
だいたいよい(だいたいそう思う)	47%	42%
あまりよくない(あまりそう思わない)	3%	3%
よくない(そう思わない)	0%	1%

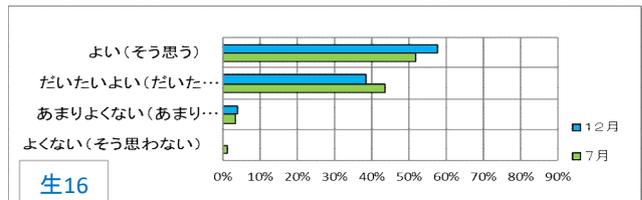


職17 共感と規律を意識させる全校集会 平均4.1(令和7年度前期3.9)

17(18)

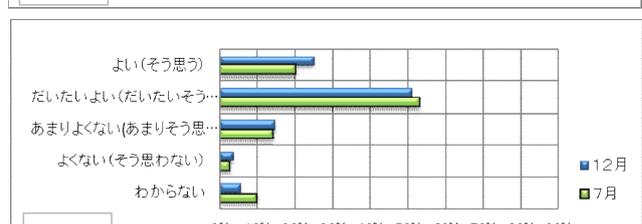
生16 あなたは、生徒会活動やボランティア、係や当番活動において、学級や学年、学校が少しでもよくなるように活動することができましたか。

	12月	7月
よい(そう思う)	58%	52%
だいたいよい(だいたいそう思う)	38%	44%
あまりよくない(あまりそう思わない)	4%	3%
よくない(そう思わない)	0%	1%



保14 あなたのお子さんは、生徒会活動やボランティアなどで、学校や学級がよりよくなるように活動していると思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	25%	20%
だいたいよい(だいたいそう思う)	51%	53%
あまりよくない(あまりそう思わない)	15%	14%
よくない(そう思わない)	4%	3%
わからない	6%	10%



職18 生徒会活動と学校経営 平均3.9(令和7年度前期3.9)